

令和6年度

事業報告書

特定非営利活動法人 コートジボワール日本交流協会

1 事業の成果

(1) コートジボワール共和国をはじめアフリカ地域において、以下の活動を行いました。

- アフリカ諸国の公衆衛生環境促進活動の一環として、2024年に受領したアルコールディスペンサー「テッテ」3万台の現地配布活動を2025年度も引き続き各国の医療機関や教育機関への配布を実施しました。大規模な寄付を有効に活用し、現地の衛生管理体制の定着を長期的に支援しました。配布先：ケニア、タンザニア
- コートジボワールの首都アビジャンでの日本語能力試験の現地開催を支援しました。今年度は70人のコートジボワールの学生が日本試験を受験しました。
- NPO Jah Live と連携し、コートジボワールの孤児院の子どもたちにクリスマス会を企画し、クリスマスプレゼントを届けました。
- 今年度もNPO Climate Clock と連携し、海の環境保護のために、SDGsの活動として、海の近隣住民と学生たちと海のゴミ問題をテーマにクリーンアップ活動を行いました。
- 昨年度に引き続き、特定非営利活動法人「海のくに・日本」とのパートナーシップのもと、コートジボワールの女性を対象とした社会進出および雇用促進支援を展開しました。本年度は、現地で獲れる魚介類を活用した「魚肉すり身バーガー」の製品開発・商品化を支援しました。現地の女性参加者へ（女性（約20名）加工・販売スキルの習得という実質的な自立支援のサポートしました。

(2) 日本国内において、以下の活動を行いました。

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）における支援活動として、2025年4月から10月にわたり開催された大阪・関西万博において、コートジボワール共和国パビリオンの運営コーディネーターおよびアフリカ諸国への多角的な支援を実施しました。
 - ◇ 期間中、当法人は同パビリオンの運営全般を統括し、伝統文化や産業の紹介を通じてコートジボワールの魅力を広く発信しました。また、アフリカ諸国からの参加者に対する通訳支援やパビリオン運営のコンサルティングを行い、円滑な国際交流の促進に寄与しました。
- 2025年に開催されたTICAD9（アフリカ開発会議）において、アフリカの一次産業支援を柱とした啓発活動を展開しました。シンポジウムでは「アフリカ漁業の未来」をテーマにスピーカーとして登壇し、現場視点での課題解決策を提示しました。また、NPO法人「海のくに・日本」との協働事業である「コートジボワール女性自立支援プロジェクト」を紹介。コ

ートジボワールにおける女性の所得向上と地位確立に向けた取り組みを広く発信し、日本・アフリカ間の新たな協力モデルとして高い評価をいただきました。

- 大阪・関西万博の関連事業「日本・アフリカ子どもサミット」の開催にあたり、「日本・アフリカ子どもサミット」への企画・運営資料の提供を通じて協力しました。
- コートジボワールをはじめとするアフリカ諸国の「いま」を身近に感じていただくための情報発信を展開。テレビやラジオといったメディア出演を通じ、現地のリアルな生活や文化、そして私たちが取り組む支援の現場を広く紹介しました。
- 本 NPO 法人のホームページの活動報告を更新し、公開しました：<https://cotodi.jp/>

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用 3,583 千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
コートジボワール共和国をはじめアフリカ地域と日本の交流に関する講演主催事業	テレビ・ラジオ出演等のメディア活動を通じ、アフリカの生活文化や支援現場の情報を広く発信し、国内におけるアフリカ理解の深化とアフリカをより身近に感じてもらうことに寄与しました。年間出演回数：テレビ TBS TV 番組「世界くらべてみたら」、ラジオ「NHK 地球ラジオ」	1月～12月	TBS (東京都港区)	1人	番組視聴者	数千人	0
	2025 大阪・関西万博でのアフリカ諸国参画支援コートジボワール共和国パビリオンで文化・産業の情報発信を統括しました。また、アフリカ諸国代表団への通訳や運営支援を多角的に展開し、国際博覧会を通じた相互理解の促進を支えました。支援した主な国名 (コートジボワール、セネガル、ガーナ、ベナン、ガボン、チュニジアほか)	4月～10月	大阪・万博内	10人	アフリカ諸国参加国、来場者等	数千人	298

	TICAD9（アフリカ開発会議）において、アフリカ漁業の課題解決と、NPO 法人「海のくに・日本」との協働による「女性自立支援プロジェクト」を発信。一次産業を通じた女性の所得向上モデルを提示し、国際的な理解と評価を深めました。	8月	横浜市	2人	アフリカ諸国参加国、来場者（国際機関・企業等）	数千人	57
	アフリカンフェスへの開催に向け、企画・運営資料の提供を通じて協力しました。 参加イベント：アフリカンヘリテイジフェスティバル	6月	代々木公園	3人	日本人	15000人	60
コートジボワール共和国をはじめアフリカ地域の人々へ日本語教育及び文化の紹介	日本語能力向上のための支援。日本語検定試験の実施、現地で活動する日本人に対し、フランス語指導と生活文化講習を実施しました。双方の語学交流と相互理解を促進しました。	4月、5月、12月	アビジャン市	20人	日本とコートジボワール	900人	215
コートジボワール共和国をはじめアフリカ地域と日本各地の学校との交流推進事業	大阪・関西万博「日本・アフリカ子どもサミット」の開催に向け、企画・運営資料の提供を通じて協力しました。	5月	大阪・万博内	2人	各小学校の生徒と先生	400人	0

コートジボワール共和国をはじめアフリカ地域の子ども の健全育成を図り人材・物的・財政的協力及び支援事業	アフリカ地域で日本語を普及するため、コートジボワールにおいて日本語学校の2校の運営	1月～12月	コートジボワール共和国アビジャン市	10人	コートジボワールの日本語学校の学生	9000人	1800
	小学校へのICT教育支援(PC設置等)。	11月	グランバサム市、マン市	3人	小学校の生徒と先生	500人	25
コートジボワール共和国をはじめアフリカ地域の農業支援事業	今年度は実施なし。						
日本各地から寄贈された文具、衣料、農機具、医療用品、医薬品等の生活用品の保管、輸送並びに提供に関する事業	昨年、寄付受け入れした「テッテ(アルコールディスペンサー)」3万台の継続配布をアフリカ各国の医療・教育機関で実施。大規模寄付の有効活用により、現地の衛生管理体制の定着を長期的に支援しました。	2月～12月	日本、アフリカ諸国	10人	コートジボワール及びアフリカ諸国	1000人	734

アフリカに関わるNGO、NPO、企業、機関並びに政府機関等とのネットワーク形成・情報発信・広報	水産資源を活用した女性自立・雇用促進支援 NPO 法人「海のくに・日本」との連携により、現地魚介類を用いた「魚肉すり身ハンバーガー」の商品化を支援しました。	10月	アビジャン市	10人	現地女性	20人	200
	「Climate Clock」と連携。海のクリーンアップ活動。	5月	グランバサム市、アシニ市	3人	地域住民と学生	2000人	90
	「Jah Live」と連携。孤児院のクリスマス会。	12月	アビジャン市	1人	孤児院の子どもたち	80人	104
各号に必要な通訳、翻訳、案内、サポート並びに情報提供	魚肉すり身加工センターにて、技術指導や運営実務の翻訳・通訳を行い、日本・現地スタッフ間の円滑な連携を支えました。	10月	アビジャン市	20人	メディア関係者等	800人	0

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
バザー、物品販売及び講演会・イベント開催事業	今年度は実施なし。				
コートジボワール共和国をはじめアフリカ地域の特産品、衣料品、食料品、楽器(ジェンベやアフリカ太鼓)の輸入及び販売	今年度は実施なし。				

令和6年度 活動計算書（その他事業がない場合）
（令和6年11月1日から令和7年10月31日まで）

特定非営利活動法人 コートジボワール日本交流協会

（単位：円）

科	目	金額	小計・合計
(A) 経常収益			
1 受取会費			215,000
正会員受取会費		60,000	
正会員受取入会金		0	
活動会員受取会費		15,000	
活動会員受取入会金		0	
賛助会員受取会費		125,000	
賛助会員受取入会金		15,000	
2 受取寄附金			7,986,000
受取寄附金		7,986,000	
3 受取助成金等			0
4 事業収益			0
5 その他の収益			140
受取利息		140	
経常収益計			8,201,140
(B) 経常費用			
1 事業費			0
(1) 人件費			
給料手当		0	
役員報酬		0	
(2) その他経費			3,583,241
旅費交通費		801,731	
外注費		2,180,000	
支払手数料		220	
イベント費		393,750	
消耗品費		66,000	
支援用消耗品費		25,000	
通信運搬費		0	
広告宣伝費		116,540	
事業費計			3,583,241
2 管理費			
(1) 人件費			0
役員報酬		0	
給料手当		0	
(2) その他経費			751,112
支払手数料		229	
地代家賃		533,985	
支払報酬		216,898	
租税公課		0	
通信運搬費		0	
管理費計			751,112
経常費用計			4,334,353
当期経常増減額【A】-【B】・・・①			3,866,787
(C) 経常外収益			
経常外収益計			0
(D) 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			3,866,787
法人税、住民税及び事業税・・・④			0
前期繰越正味財産額・・・⑤			-1,503,964
次期繰越正味財産額③-④+⑤			2,362,823

令和6年度 貸借対照表
 （令和7年10月31日現在）

特定非営利活動法人 コートジボワール日本交流協会

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	2,202,641	
	未収入金		
	貯蔵品	4,000,000	
	流動資産合計・・・①		6,202,641
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		0
	(2)無形固定資産		0
	(3)投資その他の資産		0
	固定資産合計・・・②		0
【A】	資産合計 ①+②		6,202,641
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	3,837,675	
	預り金	2,143	
	流動負債合計・・・③		3,839,818
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		3,839,818
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	-1,503,964	
	当期正味財産増減額	3,866,787	
	正味財産合計		2,362,823
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		6,202,641

1. 重要な会計方針
計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
取得価額10万円以上20万円未満の資産については、一括償却資産として3年均等償却する償却方法を採用しています。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

科目											合計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	事業部門計	管理部門		
I 経常収益												
1. 受取会費										215,000		215,000
2. 受取寄附金										8,300,000		8,300,000
3. 受取助成金等									0			0
4. 事業収益									0			0
5. その他収益									0	140		140
経常収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,515,140		8,515,140
II 経常費用												
(1) 人件費												0
給料手当										0		0
役員報酬										0		0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) その他経費												
地代家賃										533,985		533,985
旅費交通費	67,471					734,260			801,731			801,731
減価償却費									0			0
外注費	165,000	215,000		1,800,000					2,180,000			2,180,000
会議費									0			0
イベント費							393,750		393,750			393,750
支払報酬									0	216,898		216,898
消耗品費	66,000								66,000			66,000
支援用消耗品費				25,000					25,000			25,000
通信運搬費									0			0
支払手数料	220								220	229		449
広告宣伝費	116,540								116,540			116,540
租税公課									0			0
その他経費計	415,231	215,000	0	1,825,000	0	734,260	393,750	0	3,583,241	751,112		4,334,353
経常費用計	415,231	215,000	0	1,825,000	0	734,260	393,750	0	3,583,241	751,112		4,334,353
当期経常増減額	415,231	-215,000	0	-1,825,000	0	-734,260	-393,750	0	-3,583,241	7,764,028		4,180,787

3. 使途等が制約された寄附金等の内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	備考
生活用品の輸送事業 貯蔵品	0	4,000,000	0	4,000,000	コートジボワールへの寄附用物資
合計	0	4,000,000	0	4,000,000	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
合計	0	0	0	0	0	0

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
(活動計算書)			
受取会費	215,000	5,000	0
受取寄附金	7,986,000	0	0
活動計算書計	8,201,000	5,000	0
(貸借対照表)			
未払金	3,837,675	3,794,430	0
貸借対照表計	3,837,675	3,794,430	0

令和6年度 財産目録
(令和7年10月31日現在)

特定非営利活動法人 コートジボワール日本交流協会

(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】	資産の部			
1	流動資産			
	現金預金 手元現金 普通預金	2,056,250 146,391		
	未収金			
	棚卸資産 貯蔵品	4,000,000		
	流動資産合計・・・①			6,202,641
2	固定資産			
	(1)有形固定資産		0	
	(2)無形固定資産		0	
	(3)投資その他の資産		0	
	固定資産合計・・・②			0
【A】	資産合計 ①+②			6,202,641
【B-1】	負債の部			
1	流動負債			
	未払金 運営活動費 未払金 預り金	3,837,675 2,143		
	流動負債合計・・・③			3,839,818
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④			0
【B-1】	負債合計 ③+④			3,839,818
【B-2】	正味財産合計 【A】-【B-1】			2,362,823

令和6年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人コートジボワール日本交流協会

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

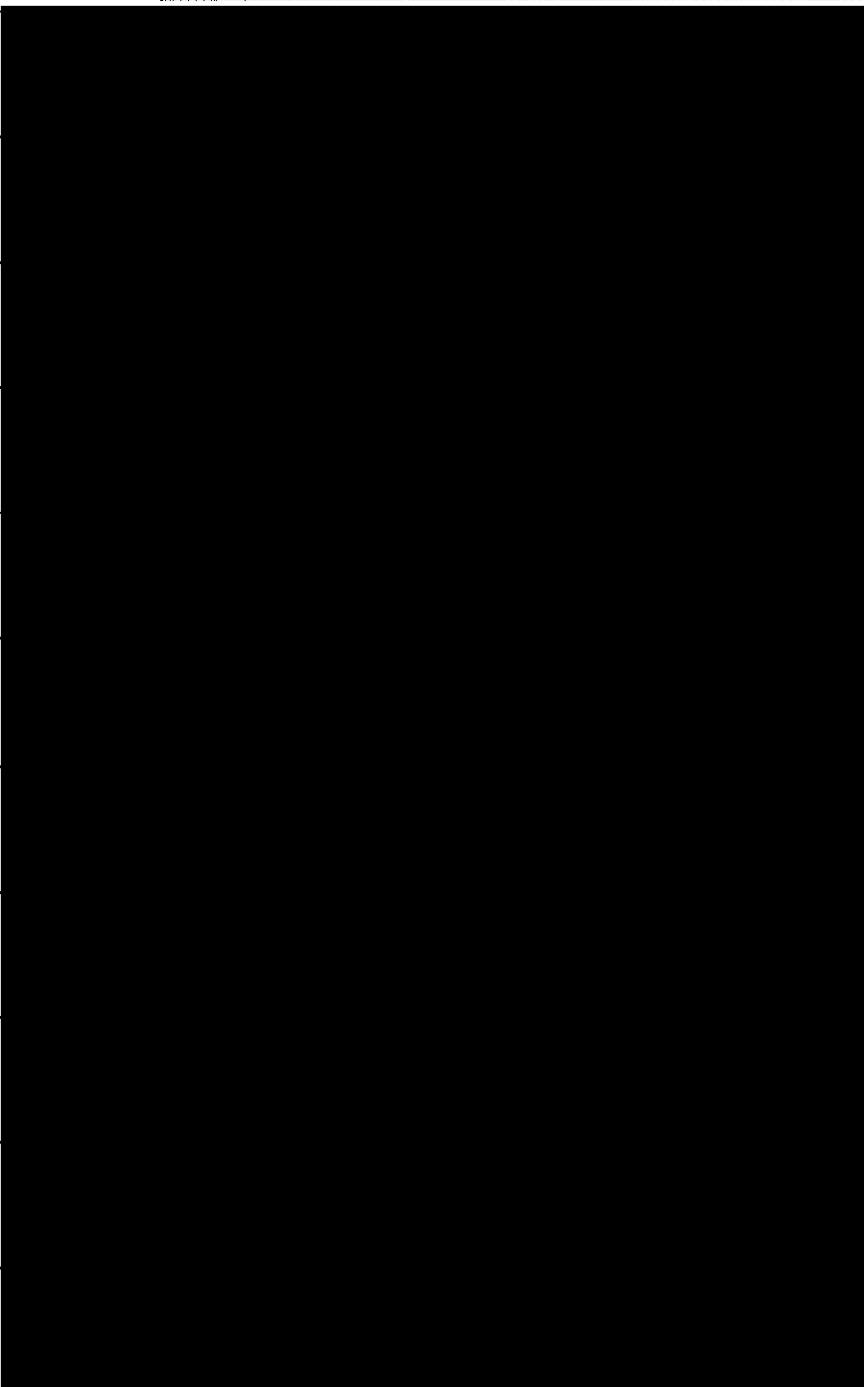
- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 (どちらかに○)	(フリガナ)	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間
		氏名		
1	○(理事)・監事	サコ ランシネ	令和6年11月1日	令和 年月日
		SAKO LANCINE	～	～
2	○(理事)・監事	エクル ダミエン	令和6年11月1日	令和 年月日
		エクル ダミエン	～	～
3	○(理事)・監事	アッカ ベルナード	令和6年11月1日	令和 年月日
		ACKAH BERNARD	～	～
4	○(理事)・監事	カマタ タモツ	令和6年11月1日	令和 年月日
		鎌田 保	～	～
5	理事・○(監事)	オオクボ ヨウスケ	令和6年11月1日	令和 年月日
		大久保 陽介	～	～
			令和7年10月31日	令和 年月日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人コートジボワール日本交流協会

	氏 名	
1	コワオ セベリン	
2	サコ ランシネ	
3	エクル ダミエン	
4	須田 沙織	
5	大久保 陽介	
6	ドウムビア シアカ	
7	堀 正文	
8	サコ サラ	
9	サコ アイ	
10	ディアラ マハマド	